

チェック!

空舎時の十分な消毒・乾燥で 管理区域の衛生状態を確保



家畜伝染病予防法の改正にこっぴどく続きます。

昨年10月から家畜伝染病予防法の一部改正が完全施行となりました。この中には生産者の皆さまが日常より取り組む衛生的なポイントを整理した飼養衛生管理基準も含まれます。

表1：新しい飼養衛生管理基準

1	家畜防疫に関する最新情報の把握
2	衛生管理区域の設定
3	衛生管理区域への病原体の持ち込み防止
4	野生動物等からの病原体の感染防止
5	衛生管理区域の衛生状態の確保
6	家畜の健康観察と異状がある場合の対処
7	埋却地の確保等
8	感染ルート等の早期特定のための記録の作成・保存
9	大規模農場に関する追加措置

過去2回のジューアの連載では表1の中から「衛生管理区域の設定」、「病原体の持ち込み防止」、「野生動物等からの病原体の感染防止」についてご紹介しました。今回はこの中から「衛生管理区域の衛生状態の確保」についてご紹介いたします。

「衛生管理区域の衛生状態の確保」では、畜舎そのものの衛生管理区域内の施設および器具（飼料給餌や除ふんの際に使用する器具等）の清掃または消毒を定期的に行い、家畜の出荷・移動により畜舎（畜房）やハッチが空になった場合は、清掃および消毒を行うこととしています。定期的な実施とは畜種、飼養形態等により状況が変わりますが、月1～2回程度の実施が望ましいとされています。さらに家畜の健康に悪影響を及ぼさないよう、過密な状態で家畜を飼養しないよう呼びかけています。

●畜舎消毒時の乾燥の重要性について

畜舎（畜房）やハッチが空になり消毒を行う場合、消毒後の乾燥に十分な時間が確保できているでしょうか。水洗・消毒に追われ、乾燥が不十分な状態で次の導入をむかえてしまうことや、在庫の一時的な増加で収容スベ

ースが不足し、十分な消毒・乾燥ができないケースも想定されます。

豚で問題となる PRRS ウイルスに関する米国ミネソタ大学の研究報告では、実験的に作成した子豚輸送車モデルを用いて車内に人工的に PRRS ウイルスを散布後、洗浄機で水洗のみ実施した場合と、洗浄機で水洗後 20℃、8 時間の乾燥を実施した場合での PRRS 遺伝子の検出を検討した結果、洗浄機で水洗後 20℃、8 時間乾燥した場合は洗浄機で水洗のみと比べ PRRS 遺伝子の検出が低減したとの報告もあります。実際の農場においてはこの実験のような環境をつくることは難しいですが、新しい家畜の導入前には水洗・消毒後の乾燥に十分な時間を確保していただきたいと考えます。

表2：子豚輸送車モデルでの各種対策による PRRS ウイルス検出状況

対策	PRRS ウイルスの遺伝子検出結果 (PCR法による陽性数/検査数)	
	対策前	対策後
洗浄機による水洗のみ (水温21℃)	20/20	20/20
洗浄機による水洗 (水温21℃) + 乾燥 (20℃、8時間)	20/20	0/20

Deeら、The Canadian journal of veterinary research 2004;68:208-214。子豚輸送車モデルは実際に使用する大きさの1/150モデルとした。モデル車内に PRRS ウイルスを人工的に噴霧 (5×10⁵ TCID₅₀/5ml) し各種対策を講じた。各種対策実施前後における PRRS ウイルスの状態を確認するためモデル車内の20ヵ所についてスワブによる拭き取りを実施し PRRS 遺伝子の検出を試みた

●定期報告書の提出について

昨年10月からの家畜伝染病予防法の一部改正においては皆さまの農場の状況についての報告も義務づけられています（定期報告書）。本年は2月1日時点での家畜の在庫状況、飼養衛生管理基準の遵守状況等を報告することとなっています。また、畜種によって報告時期が違うことも注意してください（牛、豚：4月、鶏：6月）。

飼養衛生管理基準については農水省のホームページに詳細が掲載されています。また、内容についてご不明な点は地元の家畜保健所に確認の上対応いただくようお願いいたします。